

山都町学校規模適正化検討委員会のこれまでの概要について

第1回～第8回

第1回 山都町学校規模適正化検討委員会 日程：令和元年10月24日 19:00～千寿苑

- (1) 山都町学校規模適正化検討委員会の役割について
- (2) 山都町内の小・中学校の状況について
- (3) 山都町の現状と課題について
- (4) 児童数の見込みについて
意見交換

適正規模とは何なのか等の質問や、通学時間も含めて望まれる教育環境を整備すべき等の意見がありました。また、アンケートでは、適正規模・適正配置、小中一貫校や複式学級について詳しく知りたいとの要望がありました。

第2回 山都町学校規模適正化検討委員会 日程：令和2年1月23日 19:00～千寿苑

- (1) 第1回山都町学校規模適正化検討委員会時のアンケートに対する回答について
- (2) 新学習指導要領について
- (3) 小中一貫教育について
- (4) 矢部小学校の児童及び保護者のアンケート（案）について

意見交換では、新学習指導要領に基づく英語の教科化や、ICT教育について質問がありました。また、「どのような子どもに育てていきたいかを、念頭に置いた検討をするべき」との意見があり、次回（第3回）検討委員会で協議することとなりました。

第3回 山都町学校規模適正化検討委員会 日程：令和2年9月1日 19:00～千寿苑

- (1) グループワーク 議題：「どのような子どもに育てていきたいか」
- (2) 全体会議 議題：「これからの山都町の学校教育環境のあり方について」
- (3) 区域外就学について（特例に複式学教要件を追加）

グループワークにて、今の山都町の子どもは仲が良いが、競争心が弱いとの意見が相次ぎました。また、地域を愛して欲しいとの意見もありました。そのことを踏まえて、①自分で考え行動する子ども、②自分の夢に向かって切磋琢磨出来る子ども、③「地域の『モノ・ヒト・コト』を大切にする子ども」を育てていきたいとの意見がありました。育てたい子ども像を実現するための学校教育環境のあり方について、次回（第4回）検討委員会にて協議することとなりました。

第4回 山都町学校規模適正化検討委員会 日程：令和2年10月7日 19:00～千寿苑

- (1) 矢部小学校と御学小学校の統合後アンケートについて
 - ・アンケート結果報告について
 - ・矢部小学校長より「統合後の子ども達の様子について」
- (2) 協議 議題：「山都町の学校教育環境のあり方について」

事務局からアンケート結果を説明した後、矢部小学校の田中校長に講話をいただきました。矢部小と御岳小が統合した際（令和元年度）、「新しい小学校を一緒に作って行こう」と、学校のスローガンに掲げました。統合前は不安があった児童もいましたが、統合後1年半経った今では友達が増え、学校生活を楽しく過ごしているとのことでした。

協議については第3回時のグループワークを受けて、事務局が提案した「山都町の学校教育環境のあり方について」をもとに積極的な協議が行われました。

第4回時の協議内容を踏まえて、今後の学校教育の方向について、次回（第5回）検討委員会にて行うこととなりました。

第5回 山都町学校規模適正化検討委員会 日程：令和2年11月20日 19:00～千寿苑

- (1) 複式学級訪問について
- (2) 今後の学校教育の方向について
 - ・学校規模の将来予測について
 - ・学校施設の改善について
 - ・教育内容の改善について

11月に実施した、複式学級訪問（中島小、潤徳小）に参加された委員の方から、実際に複式学級の授業を見学されて感じられた事を話して頂き、意見交換を行いました。

その後、10年後の児童数の推計及び学校施設の建築年数の確認を行い、教育内容の改善について検討を行いました。検討の中で、各中学校単位で一度協議を行いたいとの意見を頂き、第5回時の提案内容を踏まえて、次回（第6回）検討委員会にてグループ協議を行うこととなりました。

また、委員の方から詳しく内容を知りたいと要望を頂いていた義務教育学校について、高森東学園（義務教育学校）立ち上げ時教頭、現 蘇陽南小学校長の講話を、次回（第6回）検討委員会にて行うこととなりました。

第6回 山都町学校規模適正化検討委員会 日程：令和2年12月17日 18：30～千寿苑

1. 講話
(1) テーマ：小中一貫教育の理念と実践
放送大学熊本学習センター客員教授 古賀倫嗣先生
(2) テーマ：義務教育学校（高森東学園）について
蘇陽南小学校校長 永田裕通先生
2. グループ協議
テーマ：地区の学校教育の明日を語ろう
※矢部・清和・蘇陽地区の委員に分かれての協議
3. 協議
「山都町の学校教育環境のあり方について」
(1) グループ協議の報告
(2) 全体会議

小中一貫教育について古賀先生から、義務教育学校について永田校長から講話をいただきました。その後、今後の児童生徒数の推移や通学距離などから、各地区における学校教育環境の充実について協議を行いました。

事前に保護者アンケートや保護者会を実施した内容について、グループ内で共有しながら協議が進められ、その後各地区毎（矢部・清和・蘇陽）のグループ協議の報告を行い、最後に全体協議を行いました。

次回（第7回）検討委員会では、これまでの検討内容を踏まえ、山都町学校規模適正化検討委員会報告（素案）について協議を行うこととなりました。

第7回 山都町学校規模適正化検討委員会 日程：令和3年1月27日 18：30～千寿苑

協議 議題：「山都町学校規模適正化に関する報告書（素案）について」

第1回～第6回までの協議を踏まえた「山都町学校規模適正化に関する報告書（素案）」について協議が行われました。当日の協議内容及び後日意見聴取書にて提出された意見について修正を行い、「山都町の学校規模適正化に関する報告書（案）」について、次回（第8回）検討委員会にて協議を行うこととなりました。

第8回 山都町学校規模適正化検討委員会 日程：令和3年2月25日 19：00～蘇陽支所

協議 議題：「山都町の学校規模適正化に関する報告書（案）について」

前回（第7回）検討委員会の協議及び後日提出された意見聴取書の内容を踏まえた「山都町の学校規模適正化に関する報告書（案）」について協議が行われました。

適正化の基本的な考え方として、下記の視点から提言することで決まりました。

- ①「子どものための教育環境整備」の観点を第一に
- ②全町的な視野に立ち、適切な優先順位に基づく学校規模適正化の推進
- ③子どもたちの通学条件、地域性に配慮
- ④地域の教育の実態を踏まえた教育課程・指導方法の工夫・改善
- ⑤地域と学校の連携・協働の一層の推進

このことを踏まえて、教育委員会には、学校の規模によって生じる諸問題を改善し、子どもたちにとってより望ましい教育環境の実現に向け、具体的な方策等を示した、「山都町学校規模適正化基本方針（仮称）」を策定するよう求めるとされました。